

令和6年度 第1回日本大学医学部附属板橋病院 医療安全監査委員会要旨

- 1 日 時 令和6年9月5日（木）午後1時30分～午後3時55分
- 2 場 所 日本大学医学部附属板橋病院 会議室1
- 3 委 員 寺崎 仁（委員長）
各務 武希，佐伯 晴子，西成田 進，庄司 義男
- 4 病院出席者 吉野 篤緒（病院長）
田村 剛史（事務長）
中村 裕子（看護部長）
大塚 進（薬剤部長）
鈴木 孝浩（副病院長・医療安全管理委員会委員長）
小林 広和（感染予防対策室師長補佐・感染管理認定看護師）
福島 栄（薬剤部技術長・医薬品安全管理責任者・薬剤管理委員長）
岡本 一彦（臨床工学技士室技術長補佐・医療機器安全管理責任者）
高木 俊一（手術部部長）
松崎 玲奈（中央手術室師長）
五十嵐 崇浩，西尾 治美，早坂 正敏，中川 富美子
（いずれも医療安全管理室専従職員）
石崎 豊久（庶務課長）
川瀬 真一（庶務課課長補佐）
永田 晶子（庶務課）
安中 太（本部病院経営指導管理オフィス特任次長）
- 5 委員が確認した内容
 - ① 病院長から医療安全に関する所信
 - ② 手術部門の医療安全の課題
 - (1) 「タイムアウト」等の安全確認行為の実施状況とそれに関する診療科の関与と協力について
 - (2) 「ハイリスク手術」と「新規医療技術導入」への対応等について
 - ③ 令和6年度上半期における活動報告
 - (1) 医療安全管理部門
 - (2) 感染対策部門
 - (3) 薬剤部門
 - (4) 医療機器管理部門
 - ④ 各部門に関する監査
 - (1) 医療安全に関する主なマニュアルや手順書などにおいて、監査対象期間を含め直近までに改定した部分があればお示し願います。（医療安全）

- (2) 過去(おおむね3年程度)におけるインシデント・アクシデントレポートのHPにおける公表状況、個別事案の開示状況をお示しください。(医療安全)
- (3) 監査対象期間における「レベル3b」以上のインシデント・アクシデントレポートについて、個別事案の概要や発生部署等がわかるようにリスト化してお示しください。(医療安全)
- (4) 医療事故調査制度の対象となった直近の事例に関して、その事案の概要と院内事故調査の進捗状況を説明してください。(医療安全)
- (5) 感染対策に関連するマニュアル等において、監査対象期間を含めて直近までに改定した部分があればお示し願います。(感染予防)
- (6) アウトブレイクの発生状況を報告してください。(感染予防)
- (7) 手術部位感染のモニタリング結果など、院内感染対策として指標化している事項についてその状況を説明願います。(感染予防)
- (8) 監査対象期間において新規採用の申請があった薬剤について、採用の可否を含めて審議結果がわかるようにリストとしてお示し願います。(薬剤)
- (9) 抗菌薬の適正使用に向けた活動とポリファーマシーへの対応状況を説明してください。(薬剤)
- (10) 院外調剤薬局からの疑義照会への対応手順と対応件数の内訳をお示しください。(薬剤)
- (11) 供給が不安定になっている薬剤について、代替薬として「適用外使用」の事例があれば、その承認の流れと使用に際しての患者への説明の状況を確認いたします。(薬剤)
- (12) 医療機器の操作手順などに関するルールについて、監査対象期間を含めて直近までに改定した部分があればお示し願います。(医療機器)
- (13) 医療機器の安全使用に関する現場職員への研修実施状況を実施後の評価を含めて説明してください。(医療機器)

6 監査結果・委員からの講評

- ① 監査対象期間については、前回の委員会終了時から今回の委員会開催日までとする。次回からはこの監査対象期間についての監査を行う。
- ② ハイリスクの手術を行うにあたり、診療科のみの責任とならないよう検討する必要がある。
- ③ 適応外・禁忌の医薬品を使用する際、院内手続的にはしっかりしているが、患者への説明文書の作成、説明のタイミングを検討すること。
- ④ ポリファーマシーに対して、薬剤師が積極的に介入し取り組んでもらいたい。
- ⑤ 外来患者の処方箋について、薬剤師の介入を検討してもらいたい。

以 上